

奈良・平城京二条大路・

左京二条二坊十二坪



(奈良)

水道局庁舎と市庁舎とを結ぶ地下連絡路を近鉄奈良線下に建設するに先立ち、二

1 所在地

奈良市法華寺町二六六番地の一他

2 調査期間

一九八二年(昭57)五月～八三年(昭58)十一月

3 発掘機関

奈良市水道局庁舎建設予定地発掘調査会

4 調査担当者

西崎卓哉・中井 公・篠原豊一

5 遺跡の種類

都城跡

6 遺跡の年代

奈良時代

7 遺跡及び木簡出土遺構の概要

本調査地の遺構の概要については、『木簡研究五』(一九八三)に報告済みであるので重複はさけるが、未報告分七点について報告する。出土地は、二条大路

北側溝A区二点、同B区一点、十二坪内の井戸(SEO四)出土二点のほか出土地不明二点がある。

また、一九八三年十一月水道局庁舎と市庁舎とを結ぶ地下連絡路を近鉄奈良線下に建設するに先立ち、二

条大路南側溝推定地で幅一m長さ一一mの南北トレンチを設けたところ、南側溝を検出した。

側溝幅は八・七mあり、検出面からの深さは一・三mで、埋土は大きく上下二層に分かれる。下層は更に細分され、その最上層の黒色粘土層からは多量の植物遺体とともに木簡七点のほか木製品・瓦・土器等が出土した。

8 木簡の釈文・内容

二条大路北側溝A区

(1) ×□□百文 買物

・×潤九月□日□御君 (124)×16×3 019

(2) 「〽石見国美農郡人□郷長□□□□□月廿日〽」 (額カ) 272×27×6 031

二条大路北側溝B区

(3) 「腸蒸鯁卅四□」 103×19×3 051

井戸SEO四

(4) ・淡路国津名郡志筑郷三〇×

天平三年九月 (176)×34×6 081

- ## 出土地不明

$$(92) \times 25 \times 5 = 039$$

木簡解説にあたっては、奈良国立文化財研究所平城宮跡発掘調査部史料調査室の御指導、御協力を得た。記して感謝します。

(亀井伸雄)

